

2026 年 9 月 30 日

各 位

会社名 株式会社 B l u e M e m e
(証券コード：4069 東証グロース市場)
代表者 代表取締役社長 芦谷 乾太郎
問合せ先 財務本部長 岩川 隆幸
TEL 03-6712-8196 (代表)

2026 年 3 月期決算短信の開示が 期末後 50 日を超えたことに関するお知らせ

当社は、本日、2026 年 3 月期決算短信の開示を行いました。当該開示が期末後 50 日を超えた理由及び今後の決算開示につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 決算短信の開示が期末後 50 日を超えた理由

当社は、2020 年 3 月 30 日に締結したソフトウェアライセンス契約（以下、「本件ソフトウェア取引」という。）に関する売上の計上時期及び会計処理、並びにこれに伴う仕入取引の会計処理についての疑義に対し、2026 年 6 月 11 日に外部の弁護士及び公認会計士から構成される特別調査委員会を設置し、調査を進めてまいりました。当社は、2026 年 9 月 4 日に特別調査委員会から調査報告書を受領し、本件ソフトウェア取引に係る 30,000 千円の売上計上は、実質的に無償となる取引を有償の売上取引と実態を偽ったことによる売上の過大計上であり、一方、33,500 千円を業務委託費の増額を通じて返すことを約束した念書（以下、「本件念書」という。）を意図的に隠蔽し、2021 年 3 月期以降、外注費の増額で当該返済を売上原価計上してきたことが判明いたしました。

当社は、本件ソフトウェア取引に関して、2020 年 3 月期に計上した売上を取り消すとともに、2021 年 3 月期以降に計上してきた外注費(売上原価)のうち、本件念書に関連した支払いであると認められた部分について原価計上を取り消すこと、併せて、本件ソフトウェア取引に関して受領した代金を「預り金」として処理し、上記売上原価に関連する支払額を当該預り金から減額させる処理とすること、また、本件念書において返済を約していた金額と本件売上金額との差額については 2021 年 3 月期に「未払金」として負債計上することが必要であると判断し、2021 年 3 月期から 2025 年 3 月期の有価証券報告書、2022 年 3 月期から 2024 年 3 月期の第 1 四半期から第 3 四半期までの四半期報告書及び 2025 年 3 月期及び 2026 年 3 月期の半期報告書について、訂正報告書を提出いたしました。

なお、訂正報告書の作成にあたっては本件ソフトウェア取引以外に売上の期間帰属等の誤りのあったソフトウェア取引等及び過年度において重要性の観点から訂正を行っていなかった未修正事項についても併せて訂正を行っております。

これらの手続に相応の時間を要したことから、2026 年 3 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えることとなりました。

2. 今後の決算開示について

当社は、今回の決算短信の開示遅延を厳粛に受け止め、決算開示遅延の再発防止に取り組んでまいります。また、今後の決算開示につきましては、決算・監査対応プロセスの強化を図り、期末後 45 日以内での開示を基本として、適時・適切な情報開示に努めてまいります。

株主の皆様、投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

以 上